



平成24年度“社会を明るくする運動”の一環として、次代を担う平泉中学校の全生徒を対象に標語の募集を行いました。応募いただいた207点を審査した結果、次の24点が入賞しました。おめでとうございます。(敬称略)

207点中
24点が入賞

笑顔あふれる明るいついに 社会を明るくする運動“標語入賞作品”

- | | | |
|--------|---|--|
| 【最優秀賞】 | あいさつで 非行のない町 平泉
ありがとう その一言で 笑顔咲く
伝えよう 浄土の思い いつまでも | 石山 詩乃(1年)
千條 栞(2年)
岩淵 真帆(3年) |
| 【優良賞】 | あいさつと 笑顔で築く 地域の輪
だめなことをだめだと言え『真の友』
「やめよう」と 言える勇気を 自分から
犯罪は 未来の橋を 崩して
大丈夫 君は絶対 一人じゃない
もう一度 あなたの心に 問いかけて | 佐々木夏央(1年)
岩間 汐里(1年)
千葉 快(2年)
相坂 詩織(2年)
眞籠 真由(3年)
鈴木 大翔(3年) |
| | めざそうよ 非行や犯罪 ゼロの町
「こめんなさい」 素直にあやまる その心
一度だけ 甘えがすべてを 奪い去る
しない させない 犯罪非行
平泉 笑顔絶えない 町づくり
町全体 みんなで築く 笑顔の輪
見渡そう 周りにあふれる 温かさ
犯罪は 君の未来を うばって
しあわせは 笑顔と共に やって
人がいやがることはしない させない やらせ
常識は「常」に意識し 守るもの
守ろうよ 自分の心と 自分の未来
その行動 あなたの未来が かかっている
広げよう みんなの笑顔と 安全の輪
あいさつで つながる心 気づき合い | 鈴木 諒(1年)
阿部 新菜(1年)
千葉 友貴(1年)
石川偉佐夫(1年)
鈴木 由布(1年)
阿部 瑞穂(2年)
千葉満里奈(2年)
佐々木七海(2年)
下河原命子(2年)
三浦 隆(2年)
佐々木圓了(3年)
齊藤 実理(3年)
志羅山ひかり(3年)
菅原 真生(3年)
千葉美芽子(3年) |



平成24年度 平泉町成人式 感謝と決意を胸に20歳の旅立ち

平成24年度の成人式が8月15日、平泉文化遺産センターで行われ、対象者90人のうち73人が出席し、大人としての第一歩を踏み出しました。

式典では町長のあいさつ、町議会議長の祝辞などに続いて、「桜のように成長していきたい」と新成人らが要望したサクラの苗木が新成人全員に記念品として贈られました。

また新成人を代表して千葉耕平さん(15区)が「家族をはじめ、多くの方々に支えられて今日に至った。平泉が大切にしてきた心を受け継ぎながら、責任ある生き方ができるよう日々精進していきたい」と感謝の気持ちと決意を述べました。

式典後のアトラクションでは、成人式実行委員会(千葉耕平委員長・委員8人)の進行でビンゴゲームを開催。中学時代の恩師とともに、お互いの近況を発表しながらゲームは進み、和やかな雰囲気の中、笑い声が絶えない成人式となりました。

平泉を掘る

加羅之御所跡は、三代秀衡の日常の住まいであった「加羅御所」があったと推定されている遺跡です。平泉駅の北東230m付近で、170平方mの範囲から12世紀の四面庇建物やトイレ状の遺構を始めとする多くの遺構と、コンテナ16箱分のかわらけが見つかりました。

今回見つかった四面庇建物は、東西11.5m(5間)、南北8.8m(4間)の大きさです。東西3間×南北2間の身舎の周囲に庇が付いています。出土した「かわらけ」から、三代秀衡期の建物と考えられます(写真)。

身舎の四面に庇がつく四面庇建物は柳之御所遺跡を始め、志羅山遺跡、泉屋遺跡などで見つかっている格式の高い建物です。「加羅御所」があったと推定される場所にふさわしい建物と言えます。

「トイレ状遺構」(汚物廃棄穴)は4基見つかりました。大きさは直径0.68~1.32mの円形で、深さ0.32~1.22mほどあり、12世紀の溝を壊して作られています。

発掘最前線⑩

—加羅之御所跡第20次調査—

た。底からウリ科の種子などが見つかり、人為的に埋め戻し、その後に四面庇建物が建てられていたことが分かりました。

これは、以前から利用されていた土地を、秀衡期に区画整理し格式の高い四面庇建物を建てたという、土地利用の変化を示しています。



▶調査区と見つかった四面庇建物(枠線で表示)



遠藤有紗さん 小野寺理菜さん 遠藤佳奈さん 千葉ちひろさん 奈良勇記さん 千葉耕平さん 千葉真悠さん 千葉あゆみさん 佐藤亜理沙さん 千葉真美さん 菅原千暉さん 菊地尚人さん 佐藤侑さん 鈴木浩輔さん 山平朋子さん 吉田裕輔さん